

# マイバッグ悪用

レジ袋の有料化で普及が進む「マイバッグ」を悪用した新手の万引きが中部地域でも目立ち始めた。スーパーなどの売り場でマイバッグに商品を入れて、支払いを済ませたように装い、店外へ持ち出す手口。マイバッグの場合、中に入った商品が精算済みかどうかすくには判別が難しい。有効な対策は見あたらず、スーパー関係者やマイバッグを推奨する自治体に困惑が広がっている。

## 警戒 万引き

### 判別困難、スーパー困惑

愛知県にある大型スーパー。店を出ようとした高齢の女性を男性従業員が呼び止めた。女性が持っていたマイバッグからは精算をしていない台所洗剤や卵など五点、約千五百円相当の商品が出てきた。女性は昨年十二月から少なくとも三回にわたり、万引きを繰り返していたという。

女性の手口は、マイバッグと店のカゴをカートに乗せて、バッグとカゴにそれぞれ商品を詰め、レジではカゴに入れて、レジで精算し、バッグの方は店員の死角となるカートの下段に置いてレジを通過。その後、精算済みの商品が混ざり、商品が入ったバッグに混在させて万引きが発覚しないようにしていた。

## 商品 精算済み装う



エコブームでマイバッグの利用が増えているが…(名古屋市内のスーパー)

環境省によると、昨年十一月一日現在で、三十八道府県がなんらかの形でレジ袋削減に取り組み、うち十六道府県で有料化をしている。これらの自治体ではスーパーでマイバッグを持参してレジ袋を断る人が八割を超えているという。

愛知県では、六十一市町村のうち四十市町村(四月一日現在)でレジ袋を有料化。名古屋市は四月からレジ袋を一枚五円にしており、市町村別

の約八割がマイバッグを判断できない。使っているというが、今年二月の万引きは前年同月より一割増えた。男性店長(45)は「マイバッグが普及するにつれて万引きが多くなっている気がする」と話す。

これまで万引き犯は品物を衣類やかばんの中に隠すなどの手口が一般的で、万引き品であることが容易に確認できた。しかし、マイバッグを使う手口では精算済みなのを派遣する警備会社、ピースメーカー(名古屋市)は「頭を悩ませます。スーパーに私服警備員も、マイバッグを悪用した万引き防止に向け啓発活動に取り組む方針だ。」

「スーパーは客のプライバシーに配慮し、防犯カメラの導入に消極的」と指摘。マイバッグの悪用については「誤認があらってはならないので、(不審な客を見つけても)声をかけづらくならない」と対応に苦慮する。

万引きの増加傾向を受け、レジ袋を有料化している愛知県犬山市や北名古屋市ではレジを通過してからマイバッグを出すように呼びかけている。四月から市内全域でレジ袋が有料化された名古屋市

## 進むレジ袋有料化

### 愛知では40市町村 コンビニなどは途上

では全国最多の千三百三十八店が有料化した。ただ有料化には課題も残る。コンビニエンスストアやデパートなどは、スーパーと比べて消費するレジ袋が少ないため、客離れにつながりかねない有料化には大半が手をつけておらず、削減策はまだら模様だ。愛知県は「コンビニやデパートにも有料化を呼びかけていきたい」(資源循環推進課)としている。